

令和6年5月28日

学校法人 桑園学園
札幌情報未来専門学校
自己評価委員会
学校関係者評価委員会

令和5年度 学校関係者評価委員会 議事録

1. 日 時 令和6年5月28日(火) 17:00~18:30
2. 場 所 札幌情報未来専門学校 会議室
3. 開催名 令和5年度 学校関係者評価委員会
4. 対象学科 ITシステムエンジニア学科
5. 出席者
 - ・外部委員
 - 北海道リージョナルリサーチ 監事 大野 俊 様
 - IT系分野専攻 大学講師 小賀 聡 様
 - 札幌情報未来専門学校 卒業生代表 英 大典 様
 - ・司会・進行
 - 札幌情報未来専門学校 校長・理事 小林 仁
 - ・記録
 - 札幌情報未来専門学校 教務部 マネジャー 北國 裕太
6. 議 事
 - (1) 令和5年度自己評価について
 - ・自己評価アンケート集計結果
 - ・問題点の抽出および改善・意見
 - (2) 次年度動向について
 - ・ITシステムエンジニア学科 定員増について
 - (3) その他 ご意見等

(1) 令和5年度自己評価について

1 教育理念・目的 における問題点

◆校舎の老朽化に関する中長期的な計画について

《改善・対策》

校長) 本校舎の老朽化に伴い、耐震テストや取り壊し等の方策を含め、中長期計画として検討していく。

2 学校運営 における問題点

◆業務システム老朽化に伴う更改対応について

《改善・対策》

校長) 募集システムの改修作業について、人員不足で作業時間が確保できていないため、期限を決めた作業計画を立てるとともに、職員採用において人材派遣会社の利用、助成金を利用することで応募を促す。

3 教育活動 における問題点

◆人材不足による既存講師の業務負担の増加について

《改善・対策》

校長) 校務担当者が不足しており、基幹教員への普段が増大し、質が低下している。早急な人員確保と、既存業務の見直しを行い、負担を軽減する。また、外部研修等を積極的に利用し、教員のスキル向上を図る。

4 教育成果 における問題点

◆卒業生の社会的な活躍及び評価の把握について

《改善・対策》

校長) 内定先企業に対して6か月後の在籍調査を実施し卒業生の動向を把握する。また、同窓会の現役員とコンタクトが取れず、OBに対して能動的な活動が実施できていないため、組織の再構築が必要である。

5 学生支援 における問題点

◆学生の身体的・精神的不調時のサポート体制について

《改善・対策》

小賀様) 不登校経験者や、ひとり親世帯の増加により義務教育や家庭教育で学べていないまま進学しているケースが増えてきたため、専門学校でのサポートや求められる役割も大きいと考える。

校長) 当校入学者においても同様に増加しているため、カウンセラーの設置や医療機関との連携等のサポート体制を検討するとともに、教員の生活指導スキルや、対話能力の向上が必要。

6 教育環境

◆ニーズに合わせた教育設備の構築について

《改善・対策》

校長) 昨年、議題にあがったクリエイター関連科目の実習環境として、計画通り iMac を導入し今年度から授業を展開している。

小賀様) 近年は IT 技術で表現できることの幅が広がり、デザイン、動画編集、楽曲制作等、様々なメディアコンテンツで感性を発揮することができるため、授業としてもそれに対応できる環境が整い学生からの反応も良い。

北國) 次年度の課題としては、学生用ノート PC の入れ替えを検討しており、どのような形で配備するか ICT 教育を含めて検討していく。

7 学生の募集 における問題点

◆学生募集活動について

《改善・対策》

校長) HP や SNS を活用した募集活動上有効な情報発信はできているが、他校では DX 等の情報メディア系学部が新設されるなど動きが出ており、当校も新たな戦略を検討する必要がある。

8 財務 における問題点

◆中長期的な学校の財務基盤について

《改善・対策》

校長) ここ数年で2年課程の入学者が減少している。今後は18歳人口の減少でさらに状況が厳しくなるため、大学との連携やリカレント教育等、ニーズに合わせた教育の形を検討する。

9 法令等の遵守 における問題点

◆法令等の遵守と適正な運営について

《改善・対策》

校長) 法令の改正や問題点を改善するため、常に情報収集を行い、規定を策定するなど迅速な対応を行う。

10 社会貢献

◆学校の教育資源や施設を活用した社会貢献について

《改善・対策》

校長) 高校教員向けセミナーについて、今年度夏期からの再開を検討していたが、人員不足により実施が難しい状況。今年度冬季の再開に向け、教員のニーズ調査と新たな講義内容の検討を行う。

(2) 次年度動向について

- ・ITシステムエンジニア学科定員増について

校長) 現在、入学見込み数は昨年度並みに推移しているが、希望学科が3年制学科に偏っているため来年度

の学科定員数を増員することを計画している。

(3) その他

- ・特になし

以上